

1 現状と課題

〔現 状〕

- 国内のヘルスケア関連産業の市場規模は、令和2年度(2020年度)は9兆1千億円で、令和7年度(2025年度)には12兆4,800億円で1.4倍になる見込み
- 本県の高齢化率は、34.3%と全国3位(令和元年(2019年)10月)であり、医療費や介護に係る負担は増大
- 令和3年(2021年)4月、山口市産業交流拠点施設に「ライフイノベーションラボ^{*}」が整備予定であり、市民の健康寿命の延伸等が期待される

〔課題と方向性〕

- 本県の高齢化の進展等を踏まえ、島津製作所をはじめとするヘルスケア関連企業のトップランナーとの共同研究を着実に推進するとともに、それを呼び水に、「ライフイノベーションラボ」の機能を活用し、今後、成長が期待されるヘルスケア関連産業の創出・育成に向けた取組が必要

2 プロジェクトの概要

ヘルスケア^{*}関連産業推進体制の構築

- 学識経験者、関係団体、行政等で構成する「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会^{*}」を設置・運営
- 「ライフイノベーションラボ^{*}」内に、企業のヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援を行う拠点として「やまぐちヘルスラボ^{*}」(仮称)を設置

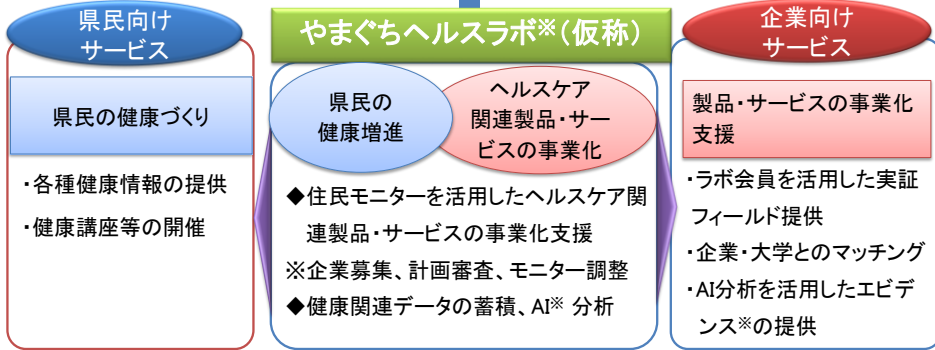
6者合意に基づく地域コホート研究^{*}の推進

- 島津製作所、花王、協同乳業、山口大学、山口市、県の6者で認知症の診断・予防や高齢者の健康づくり等について多角的な検証を行う地域コホート研究を実施(R2(2020).8合意書締結)
- 山口大学医学部に設置した「社会連携講座^{*}」の運営(R2(2020).8設置)
- 山口大学AIセンター^{*}によるAI分析の実施及び事業の効果検証
- 地域コホート研究により得られた新たな知見に基づく予防医療体制の構築等

県民の健康増進及びヘルスケア関連製品・サービスの創出支援

- 「やまぐちヘルスラボ」(仮称)会員の登録促進及び会員を対象とした健康づくりの推進
- 企業による製品やサービスの事業化に対する支援及び企業参入の促進
- AI^{*}分析を活用した企業へのエビデンス^{*}の提供(性能・効果等の検証)

やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会※
(学識経験者、関係団体、行政等)
ヘルスケア関連の情報共有・関連企業の交流の場



ライフイノベーションラボ※



6者合意締結式(R2(2020). 8)

期待される効果

- ・県民の健康づくりの推進
- ・ヘルスケア関連製品・サービスの創出及びオープンイノベーション※による新事業の創出

3 工程表

取組	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
ヘルスケア※関連産業推進体制の構築	＜「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会※」の設置・運営＞		
6者合意に基づく地域コホート研究※の推進	＜山口大学医学部「社会連携講座※」の運営＞ ＜地域コホート研究の実施＞ ・島津製作所、花王、協同乳業、山口大学、山口市、県の6者による研究実施 ・山口大学によるAI※分析・事業の効果検証 ・健康関連データの集積・ビッグデータ※化 ・新知見に基づく予防医療体制の構築や県民の健康づくり施策への還元		
県民の健康増進及びヘルスケア関連製品・サービスの創出支援	＜「やまぐちヘルスラボ※(仮称)」を拠点とした事業化支援＞ ・県民の「やまぐちヘルスラボ」会員の登録促進 ・「やまぐちヘルスラボ」会員を対象とした健康づくりの推進 ・企業によるヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援 ・AI分析を活用したエビデンス※の提供(性能・効果等の検証) ・ヘルスケア関連産業への企業参入の促進		

4 取組目標(指標)

指標名	現状値		令和5年度(2023年度)目標値
	数値	基準年/年度	
「やまぐちヘルスラボ※(仮称)」会員数	—	—	200人
ヘルスケア※関連企業による製品・サービスの実証事業件数	—	—	3件/3年